

(64) 鉱山借區図 (第 96 図)

年代 明治 6～16 年 (1873～1883) の状況を明治 17 年 11 月にまとめたもの
寸法 156×110
縮尺 216,000 分の 1
発行 工部省鉱山課
所蔵 高山市教育委員会

第 96 図は尾張、三河、遠江、美濃、飛騨、信濃、加賀、能登、越中の地域について鉱山の位置と産出する鉱物を詳細に記した地図である。岐阜県に接する隣県の鉱山も記載され、富山県、石川県、愛知県、静岡県の一部（遠江）が掲載されている。県名の表記でなく、江戸時代の国名である尾張、三河、遠江、美濃、飛騨、信濃、加賀、能登、越中と表記されている。

凡例には金が⊕、銀が「ギ」に丸、銅が「ド」に丸、鉛が㊦、鉄が㊧、石油が「ゆ」に丸などと表記されている。

欄外には 5 つの統計表が掲載され、当時における詳細な鉱山運営管理がなされていたことがわかる。

表 8 は「借区略表」で、神岡は銀、鉛、銅の出来高が多い。大野郡では清見の陶土、荘川の銅、鉛が採取されていたことが分かる。表 9 は郡別の鉱種と面積の表である。表 10 は砂金、砂銀、砂鉄の出来高表である。表 8～10 の数値は原図の表のとおりに掲載したが、数値の単位は分からないところがある。

上宝地域は長倉に銅、神坂に銀、銅、蔵柱に銀、銅、国府地域は宮地に石炭丹生川地域は大萱に石油、高根地域は阿多野に銅、日影に銅、日和田に銅、朝日地域は小瀬ヶ洞に銅、鉛、来島に銅、甲に銅、久々野地域は久々野に銅、渚に銅がそれぞれの地図上に表記されている。

荘川地域は中畑に銅、猿丸に銅、三尾郷に銅、清見地域は森茂に金、大谷に金、片野金山がそれぞれ地図上に表記してある。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。